

野外活動

プログラム名	キャンプファイヤー			
概要	仲間とファイヤーの火を囲み、火の大切さを学ぶ。スタンツやゲーム等を通して絆を深め、心の交流を深める。			
ねらい	大自然の中で火を囲み、自然と触れ合うことができる。友と語り、友を知り、自分を知ることができる。火を通して、火の偉大さ、強さ、激しさ、暖かさを再確認することができる。スタンツなどのグループ活動を通して、仲間意識を養うことができる。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～200人（2人以上）
	活動目安時間	90～120分	活動時期	通年
	活動場所	営火場 A・B	費用	4,000円（薪、灯油等）
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）飲料、軍手、懐中電灯 ※必要に応じて虫よけスプレー （団体）トーチ棒（必要数：火の神、御子、献詞者の人数分、予備1、2本など）、スタンツに必要なもの （貸出）衣装（3人分）、うちわ・杖、アンプ、CDラジカセ、延長コード、チャッカマン、片付け用具			
安全上の留意点 （対策方法）	火傷（トーチ棒、井桁の扱い、風向きに注意） 暗闇での転倒、接触（懐中電灯を準備する） スタンツ中のケガ（活動範囲を考慮し、無理なスタンツ構成をしない） 煙による体調不良（風下での活動を避け、極力煙を吸わないよう配慮、危険性を研修生に伝える） 自然災害（気象状況の事前把握、落雷等ある場合は指導者判断の下速やかに青年の家へ避難する） 火災（強風・風向注意、周辺の草木に水を散布、活動後の消火を徹底） 虫刺され（虫よけスプレーを準備）			
<b>活動内容（手順）</b>				
事前①指導者配置の決定：活動指導（準備、進行、火の神などの役割分担を決定）、巡視指導（活動中の研修生の補助や指導・助言） ファイヤーキーパー（風や進行に応じて火力を調整）、準備/片付け（当日準備/備品の返却、消火、翌朝灰処理） ②下見の実施：営火場までの動線及び営火場の周りの状況を把握 ③実施方法の決定：第1部から第3部までの流れや休憩時間、全員で合唱する歌などの決定（進行の不明点は要相談） ④グループ編成：活動内容に応じて、スタンツを行うグループ等編成 ⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等の指導、服装や持ち物の確認、火の扱い方の指導				
活動前①打合せ：16:00頃、事務室前で所員と団体責任者、担当指導者にて実施 1次実施判断：気象を基に、協議の上決定 確認事項：人数、健康状態、貸出備品 備品をすべて持って営火場へ移動 ②準備：薪小屋の使い方、井桁の組み方、コンセントの位置、灯油の扱い方、消火器の使用方法を所員とともに確認 片付け：消火方法、道具類の片付け、貸出物の返却、料金精算書、翌朝の片付けについて所員とともに確認 ③最終実施判断：18:30頃、事務室前で所員と団体責任者、担当指導者にて実施				
活動①営火場へ移動：懐中電灯で道を照らしながら移動、連絡車両をログハウス駐車場へ移動 ②活動開始：第1部→第2部→第3部 ③確認事項：人数、健康状態 ④本館へ戻る ⑤報告：本館に戻った指導者は、所員へ活動終了、研修生の健康状態を報告 ⑥夜の片付け（片付け担当）：薪の完全消火、道具類の片付け、貸出備品の返却と確認 ⑦朝の片付け（片付け担当）：燃え残りを灰捨てドラム缶へ入れる。忘れ物の有無を確認し薪小屋の鍵を返却（6:30～7:30）				

<その他>

- 費用4,000円の内訳【太薪（10本）、細薪（2束）、灯油（2リットル）】※雨天中止の場合、着火前であれば費用は掛からない
- 当日の準備（活動前①②）は研修生のキャンプファイヤー係も指導者とともに参加
- 活動前に営火場外周の枝木に放水を行う。夜の片付け時の薪の消火は、水をかけ、完全に煙が出なくなるまで行う